

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス編集部 ■TEL:03-3593-6229 ■MAIL:info@new-kokumin.jp
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F ■HP:new-kokumin.jp

こくみんしゅ
Press
埼玉県
総支部連合会
号外
2021年8月

連絡先

国民民主党 埼玉県総支部連合会

〒352-0001

埼玉県新座市東北2-29-26 松栄ビル405号

TEL: 048-423-6300

FAX: 048-423-6303

E-mail: info@new-kokumin-saitama.org



たまき
チャンネル

国民民主党 玉木雄一郎代表のYouTube チャンネルで紹介された「コロナ禍なのに税収が過去最高額」というニュースについての解説(2021年7月18日 公開)を、要約してご紹介いたします。

過去最高

コロナ禍なのになぜ!? 税収 60兆円超 (2020年度)



	2019年度	2020年度
所得税	19兆円	▶ 19兆円
法人税	11兆円	▶ 11兆円
消費税	18兆円	▶ <u>21兆円</u>

GDP **-4.6%**
(過去最悪)
消費支出 **-6.3%**

皆さんこんにちは、玉木雄一郎です。

昨年度、コロナ禍の真っ只中でしたが、なんと税収が過去最高の60兆円越えというニュースが出ました。昨年はコロナ禍で、GDPの伸び率は前年に比べて-4.6%で、統計を取り始めた1995年以降過去最悪です。もっと見ると消費支出が前年度比-6.3%と、これも大幅な減になっています。

にもかかわらず、税収が過去最高になりました。

いろんな税収がありますが、主な基幹税と言われているのが所得税・法人税・消費税の3つです。

所得税は全体の税収60兆円のうち19兆円で、前年の2019年度とあまり変わっていません。

法人税も前年度と比べてあまり変わっていません。

問題は消費税です。

消費税は21兆円で、前年の18兆円から約3兆円増えています。

これは何かというと、2019年10月に消費税8%から10%に上げましたよね。

2019年は年度の途中で上げたので、増税した分の効果がまだ中途半端にしか出ていないのですが、2020年度は増税の効果がフルに出た初めての年です。

前年度から3兆円増えたのは、この増税分です。

見ていただきたいのは、60兆円のうち1/3以上が消費税で、一番税収の多い項目になっています。

しかしここで問題なのが、消費支出全体は6.3%も減っています。

普通は景気が悪くなると、法人税・所得税が減って、ある種、自動的に税収減になります。

景気が悪くなっているのに税収が増えているのは、本来とは逆になっています。

景気が悪くても税収が変わらない、あるいは税収が増えると言うのは、税を取る側からしたら非常に良いことですが、逆に国民の立場からすれば、景気が悪くなって消費を抑えなきゃいけないのに、払った消費税が多いということは家計負担が非常に厳しくなっているということです。

ですからこの60兆円、過去最高でした、と胸を張るのではなくて、むしろ減税すべき減税ができていなかった、あるいはこの苦しい時に、上がった分の税収をきちんと国民に還元しきれてないのではないのか、ということが私は問題だと思います。

菅総理との党首討論の中でも、総理は昨年度作った補正予算のうち、まだ執行していない繰り越し分が30兆円あるという話がありました。

再び緊急事態宣言を東京に出すような状況ですから、私はこういう財源を使ってしっかりと家計を支える、困っている事業者を支えるような、大胆な経済政策、財政出動が必要だと思います。

「たまきチャンネル」は、国民民主党 玉木雄一郎代表が、街の生の声を直接聞いたり、国会で議論されている様な難しいことを分かりやすく、自分の声で説明していくYouTubeチャンネルです。

今回紹介した話題以外にも色々なテーマで動画をアップしていますので、是非ご覧になってみてください。



国民民主党が訴える30兆円の経済対策

国民民主党 緊急経済対策 (4月23日)

30兆円

10兆円

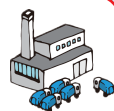
補償

事業者の固定費 9割 月2億円給付

(家賃・光熱水費など)

最大

最大



10兆円

現金

現役世代 10万円 低所得者 20万円給付

1人

1人



10兆円

減税

消費税 10% → 5% 引き下げ



+ 税金・社会保険料等の支払猶予延長・減免

今、国民民主党は30兆円の経済対策という話をしております。

先の国会の党首討論で、玉木雄一郎代表も菅総理に対して、この経済対策をやるべきだと訴えました。その際に菅総理が言っていたことは、令和二年度、つまり今年の三月末までに使わなければいけなかった補正予算 30 兆円分が残っているから、まずこれを使ってから次の補正予算を組むということでした。一見まともに聞こえますが、これに対して玉木代表ははっきりと、そういう事をやっていると遅れてしまうということを指摘しました。

世界経済は回復基調になった瞬間に政府が財政支出をすることで経済の回復を早めていきました。

日本も経済を回していかなければいけません。

だからこそ今やるべきは政府がどんどんお金を出すことではないでしょうか。

ワクチン接種が完了してからではなく、接種が進んでいく段階で政府が動いていかなければいけません。経済対策が浸透するまでに摂取は完了します。

その間にお金がどんどん動いていって、良い形で経済の復活につなげていける、ということを提案しました。

具体的に国民民主党が提案する30兆円の補正予算は大きく分けて3つです。

企業の減収に対する9割の補填の **10兆円**。

現役世代に対する現金給付の **10兆円**。

そして一時的に消費税を10%から5%に戻す減税対策としての **10兆円**。

大まかに言ってこの3つに対して30兆円を導入することで、経済が動き出すときに、みんなが安心して動き始めることができる環境を作ることが、国民民主党が訴えていることです。

国民民主党埼玉県連のメンバー



県連代表
4区総支部長

あさの 克彦



県連幹事長
熊谷市議会議員

黒澤 三千夫



14区総支部長

鈴木 よしひろ

国民民主党 党員・サポーター 募集！

● 党員 (年会費 4000円)

国民民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上の日本国民が入党でき、党の運営や活動、政策づくりに参画することができます。

● サポーター (年会費 2000円)

国民民主党を応援したい18歳以上の方が参加でき、党の行事および活動に参加できます。

登録・お問い合わせは国民民主党埼玉県連まで

国民民主党 埼玉県連

検索